

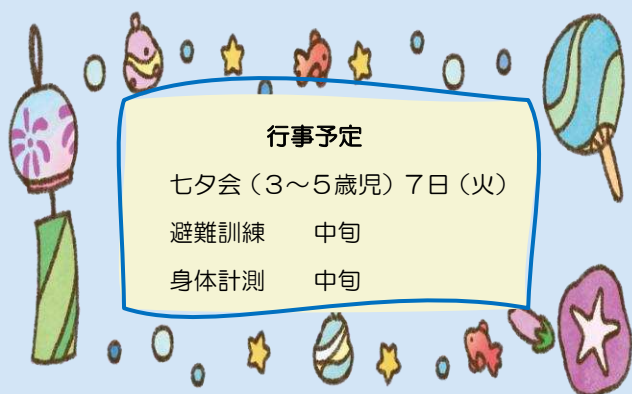


7月園だより

令和8年7月1日
目黒区立不動保育園園長

春に植えた野菜が雨をたくさん浴びて育ち、食べごろを待っている間に大きくなりすぎたり、小動物に味見をされたり野菜を育てる大変さを実感しています。先日、3歳児クラスと5歳児クラスが育てたキュウリが大きく育ち、「お化けきゅうり」と見たこともない大きさのきゅうりを喜んでいた3歳児クラスの子どもたちがいました。一方5歳児クラスの子どもたちは「何グラムあるかな」「大きいのと小さいのはどっちがおいしいのか」と一人の子がつぶやくと、友達を誘って調理室の“計り”を借りて「750グラムこっちは～」と重さを数字にして興味を広げていました。様々な経験によって好奇心の芽が育まれ、健やかに育っていることに喜びを感じます。

梅雨の合間の晴れた日の園庭では手や足をどろだらけにして遊んでいます。「お茶やさんがきたよー」と遊びの途中に水分補給のお茶を配ると1歳児クラスの子が近づいてきます。「どうぞ」とお茶の入った紙コップを渡すと普段の習慣から周りにちょこんと座る姿が微笑ましいです。2歳児クラス以上の子どもたちは自分の遊びのタイミングで受け取ると一気に飲み干し、また遊びに戻っていきます。好きな遊びを存分に楽しんでいることが伺え嬉しくなります。熱中症対策をしっかりと行いながら、戸外での栽培や遊びを楽しんでいます。

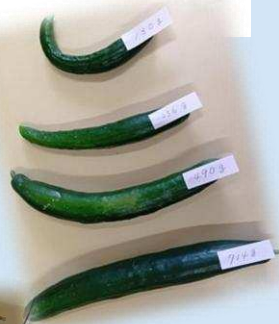


行事予定

七夕会（3～5歳児）7日（火）

避難訓練 中旬

身体計測 中旬



「これなに？」から始まる食の楽しさ ～栄養士より～



先日、給食で使用する乾物の『干びょう』を子どもたちに見せました。初めて見る干びょうの姿に、「これなに？白い紐かな」「うどんみたい」と興味深々の様子でした。実際に手で触れたり保育士が水につけて見せると、食材への関心を深めていました。その後、みそ汁に入った干びょうを発見すると、「さっき見た干びょう見つけた」「みそ汁に入ると、色が変わってる」と嬉しそうに食べる姿が見られました。

「見る」「触る」「嗅ぐ」などを通して食材の変化や新たな発見をすること“食べる楽しさ”に繋がります。これからも子どもたちが食に親しみをもち、「食べることって楽しいな」と感じることができるよう食の経験を大切にしていきたいと思います。

「なにこれ？」
「かたい」
「かみ？」



水につけたのを触ると
「さっきより、やらかい」

「食べてるやつにそっくり」

～えがお いっぱい～

3, 4, 5歳児クラスの様子を紹介します。



『コスモスサロンへようこそ』 ～3歳児クラス・コスモス組～

コスモス美容室では、「今日はどれにしますか」と髪型のカatalogにみたてた絵本を見せてくれます。絵本を見せられた友達は木の絵を指さし「葉っぱ」と応えます。（うん？これは美容院の友達とイメージが違うかもしれないな）と見守っていると、保育士の心配をよそに美容師役の友達が「葉っぱですね」とすぐに対応し洗濯ばさみを髪にとめていきます。「はい、いっぱいつけたよ」と言われると、お客さん役の友達は鏡をのぞき込みうっとりとしていました。次のお客さんはシャンプーです。ベンチに座っている友達の上体を「おととと」と言いながら手を添えて倒し、「目、つぶってね」とミニペットボトルをシャンプーに見立て、「ごしごし」と泡立てるようにして髪を洗っていました。遊んでいる中で、友達のイメージが自分のイメージとぴったりと合わなくても、同じ空間のなかでやりとりをしながら遊ぶのを楽しんでいました。その後もお客さんが次々にやってきて大繁盛の美容室になりました。



「今日こそうまくいく・・・かな」 ～4歳児クラス～・マーガレット組～

園庭にあるゾウの滑り台は、普通に滑るだけでは物足りなくなってきた、少し難易度が高い逆さまから上っていく遊びが始まりました。勢いをつけて登ってみたものの、あと少し頂上には到達せずズルズルと滑り落ちています。すると「お尻を押してくれー」と後ろに並ぶ友達に協力を求めます。「よーしまかせろ」とすぐ後ろの子がお尻を押すと、続いて並ぶ後ろの子どもたちも協力し始めます。まるで絵本の「大きなかぶ」のようです。前に居る友達の背中を支えるように押しますが連なったまま滑り落ちてしまうと、「あーダメだった」と残念そうにしています。上まで登れたときはみんなで喜びを分かち合いながら、登れず滑り落ちていくのも楽しくて、「もう1回、押し」と何度も挑戦するのを楽しんでいました。



『僕ら道路工事隊！！』 ～5歳児クラス～・ヒマワリ組～

泥んこ遊びが盛り上がり、砂場ではみんなで力を合わせて大きな山づくりをしています。「先生はどんどん大きくしてね」と保育士にお願いしながら、子どもたちは山にトンネルを掘っていきます。保育士が山を大きくする横で、「もう少しかな」「繋がりそう」と慎重に掘り進めます。トンネルが貫通し、穴の中で友達と手を繋ぐことができると、「できたー」ととても嬉しそうな表情を見せてくれます。その後は、山の周りに道を作り、「よし、流すぞ」とみんなで次々に水を流していきますが、水の勢いで道が壊れてしまいました。「うわー崩れた」「直すぞ」と声を掛け合い、水を流すのを一旦中止にします。道の両端の砂を両手ではさみながら塀を作っていく、山の回りの道に一周塀を作り終わると、「よし、水を流して」と互いに声を掛け合います。水がうまく流れていく様子を見て満足そうに見ていました。

何も無いところから友達と相談したり、協力したりしながら作り上げる楽しさを味わっています。